

第158回
定時株主総会
(ご参考)



～ 本資料で引用する招集ご通知について～

本資料で引用している招集ご通知のページ数は、弊社ウェブサイトに掲載している、「第158回定時株主総会招集ご通知」に基づいております。

「第158回定時株主総会招集ご通知」は下記リンクからご覧いただけます。

第158回定時株主総会招集ご通知URL:

<https://www.yasuda-soko.co.jp/LinkClick.aspx?fileticket=1bUOn8XNl0M%3d&tabid=133>

1. 企業集団の現況に関する事項

日本経済

雇用・所得環境や企業収益の改善、
着実な設備投資を背景に、
景気は概ね緩やかな回復基調で推移

物価上昇の継続や個人消費の下振れ懸念、
中東地域をめぐる地政学的緊張等により、
先行きは不透明感が残る

倉庫物流業界

- エネルギー価格の変動、人件費高騰による収益下押し圧力が続く
- 建設関連貨物の不振により、国内貨物輸送は低調に推移
- 入出庫高や保管残高、国際貨物輸送は概ね安定した水準を保つ

不動産業界

- 都市部におけるオフィスビルの空室率は改善し
賃料水準も上昇傾向にあるなど、需要は回復に向かう

強くなる、ひとつになる

YASUDA GROUP CHALLENGE 2027

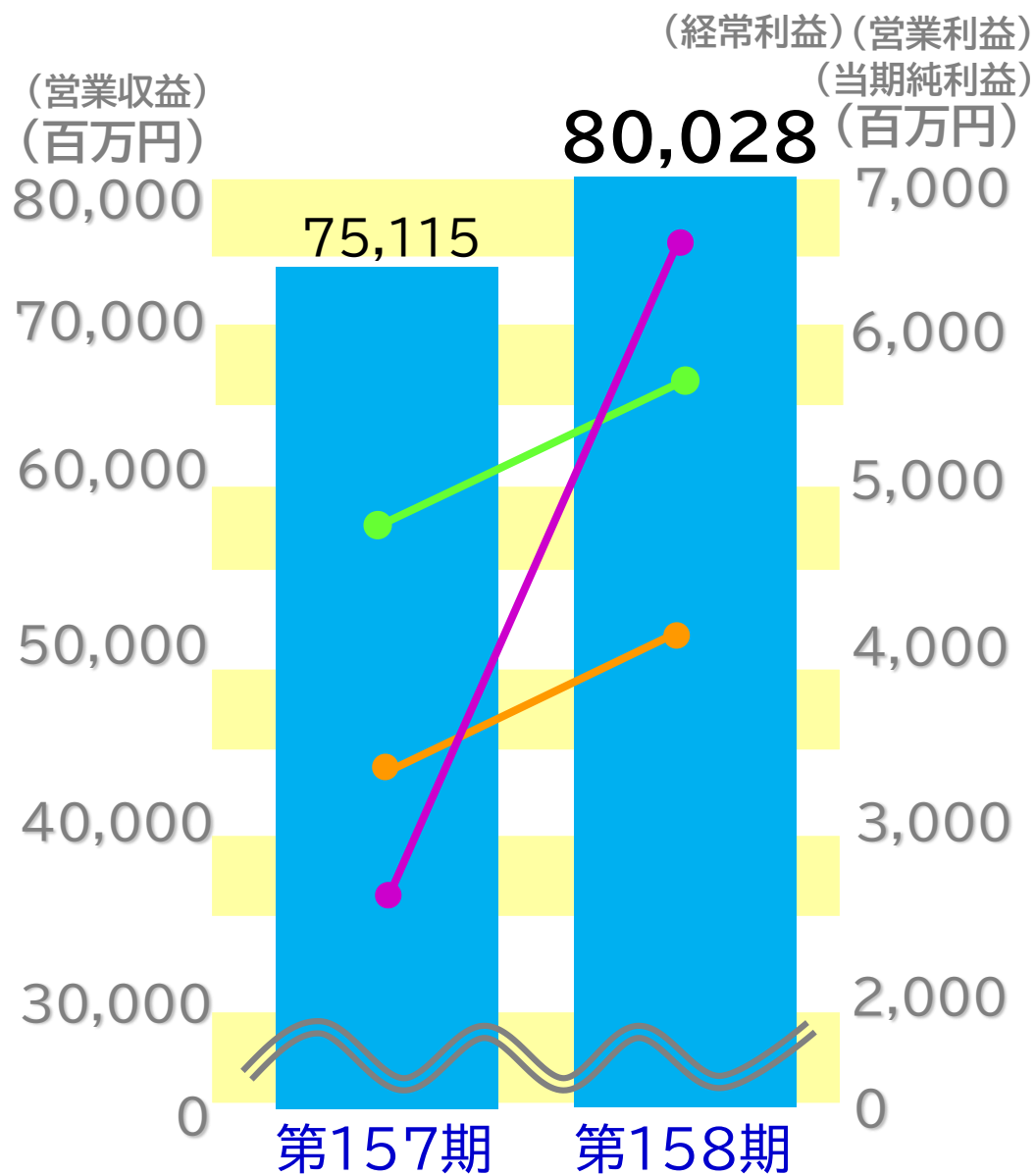
物流事業

- グループ連携によるネットワークの拡充
- 潜在するニーズを捉えた高品質・高付加価値物流の提供やソリューション提案力の強化
- 最先端テクノロジーを活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

不動産事業

- 保有不動産の維持管理と価値向上施策
- 高い専門性を活かした不動産ソリューションの提供

当連結会計年度の業績



営業収益

80,028百万円

前期比4,912百万円増
(6.5%増)

営業利益

4,289百万円

前期比773百万円増
(22.0%増)

経常利益

5,822百万円

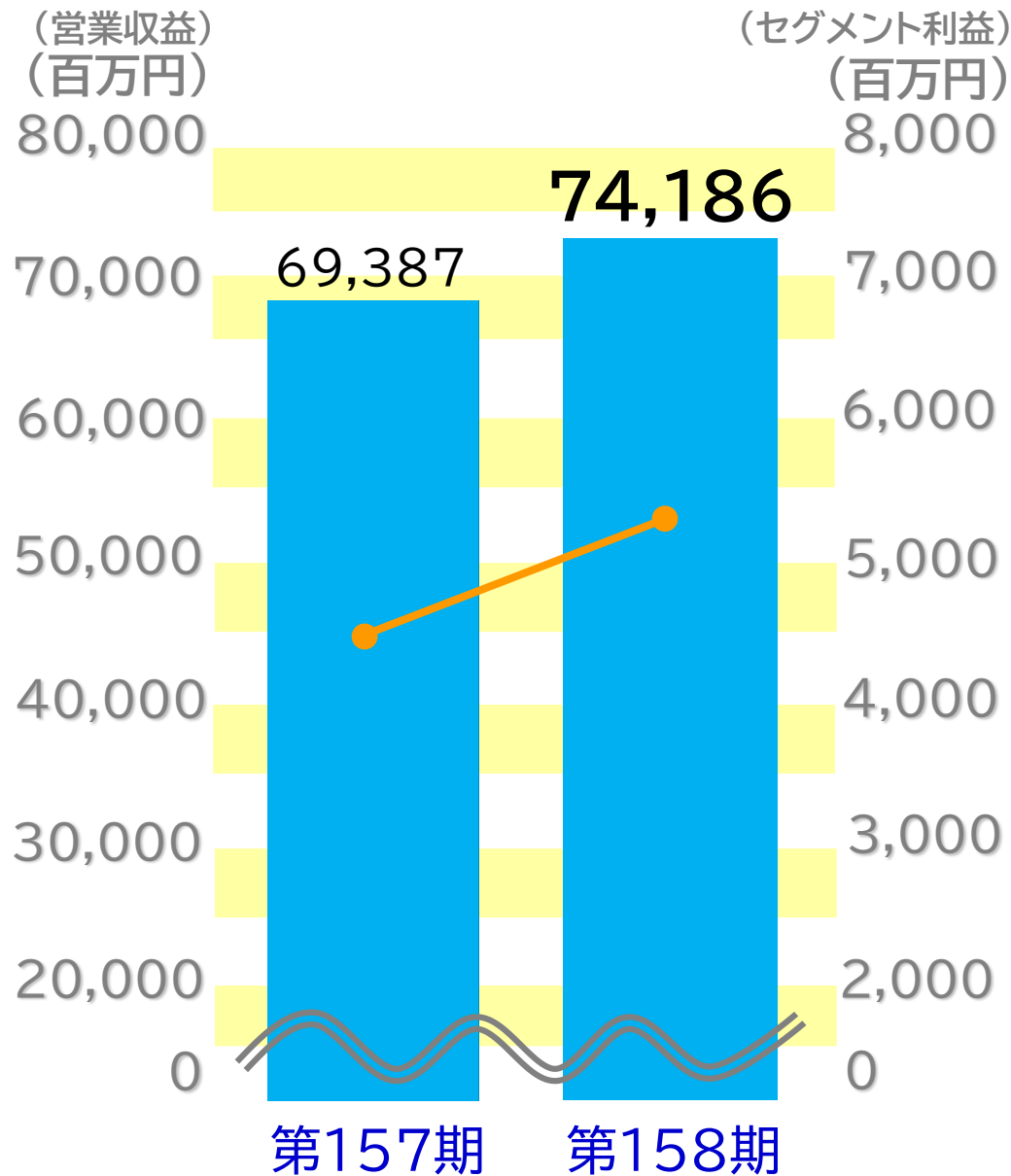
前期比845百万円増
(17.0%増)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

6,728百万円

前期比3,925百万円増
(140.1%増)

対外公表した連結業績予想値を
いずれも達成



営業収益

74,186百万円

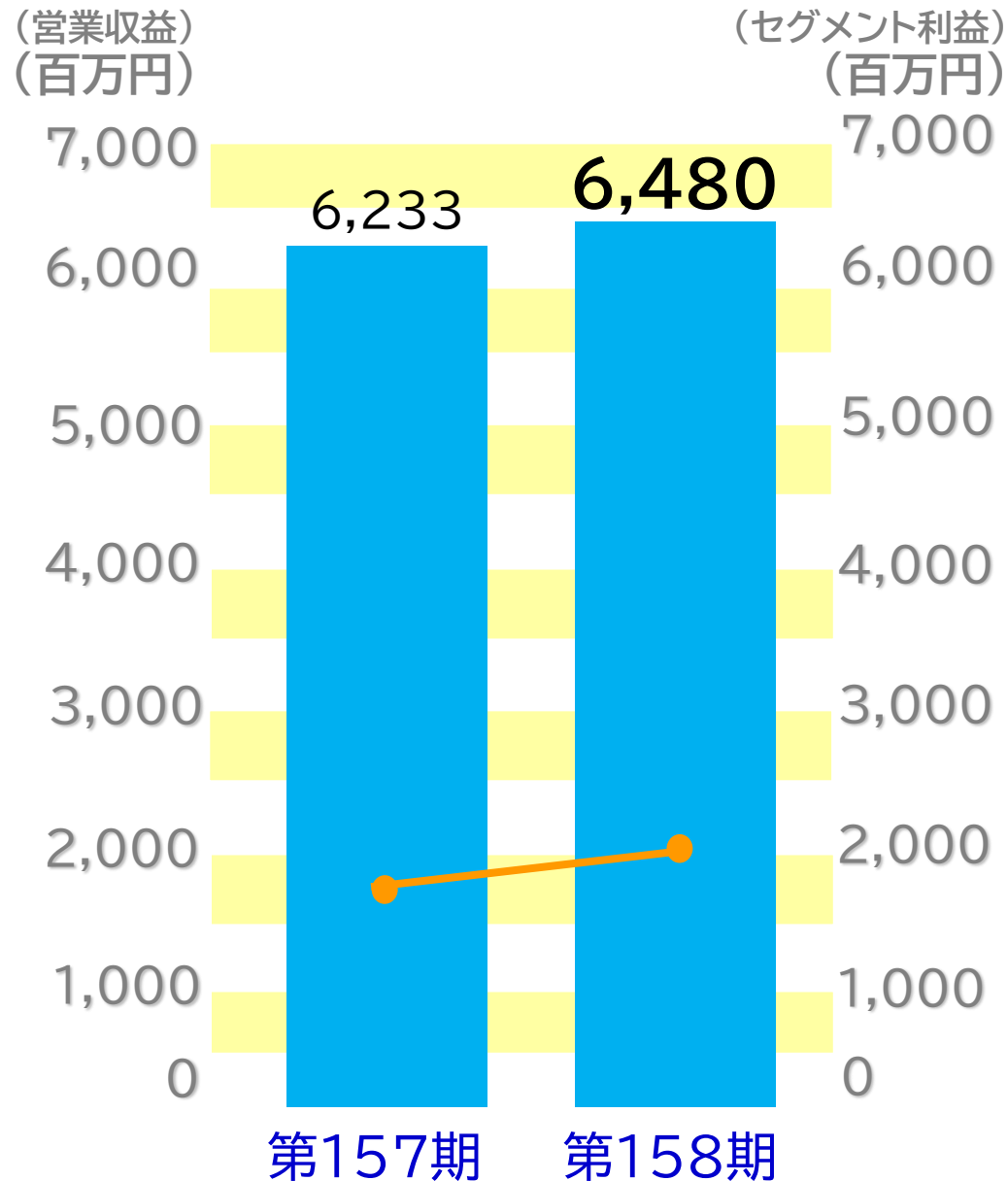
前期比4,798百万円増
(6.9 %増)

**セグメント利益
(営業利益)**

5,342百万円

前期比774百万円増
(16.9 %増)

- 前期に新設した物流施設の高稼働
- 新規取引の開始、既存顧客との取引拡大



営業収益

6,480百万円

前期比247百万円増
(4.0%増)

**セグメント利益
(営業利益)**

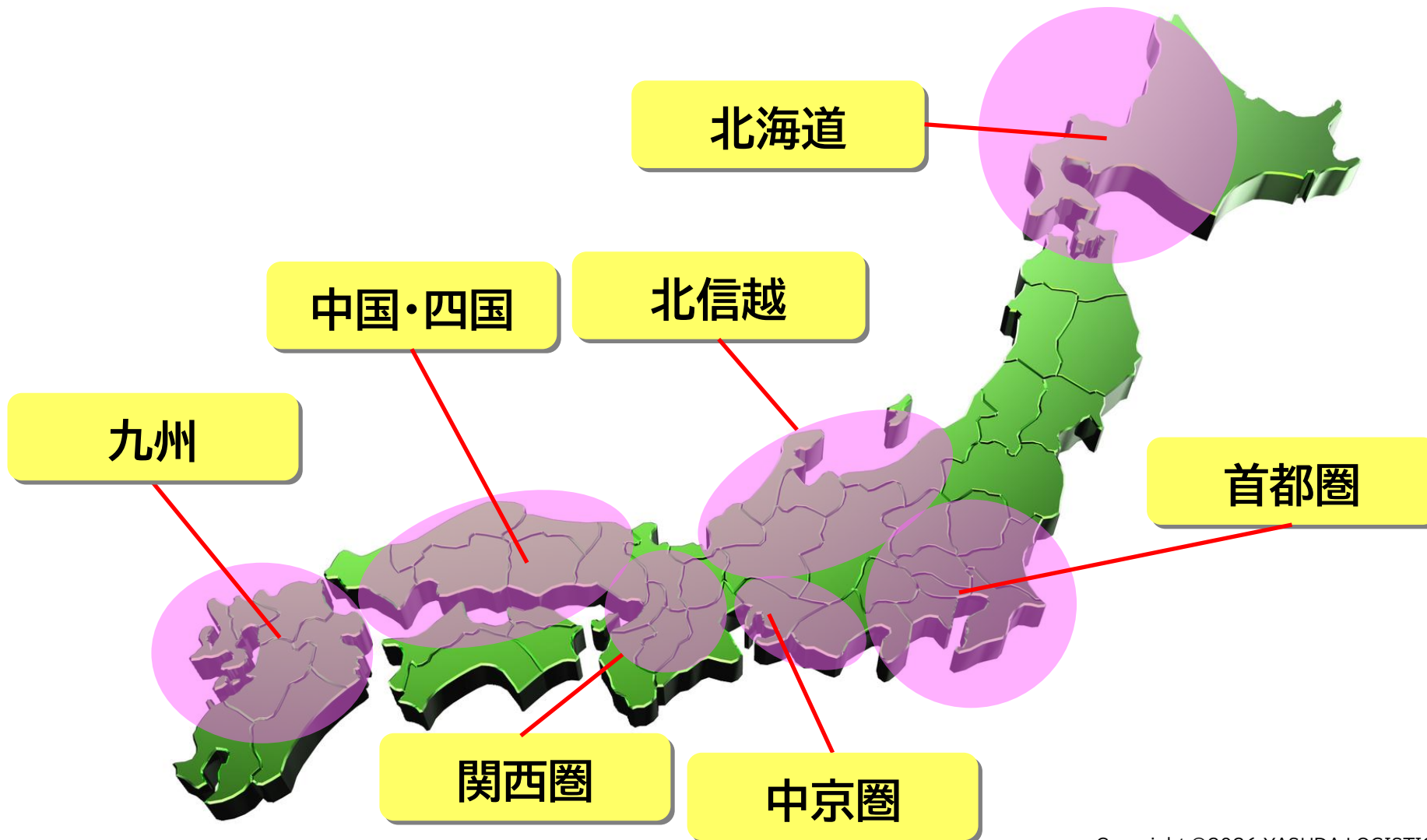
2,026百万円

前期比183百万円増
(10.0%増)

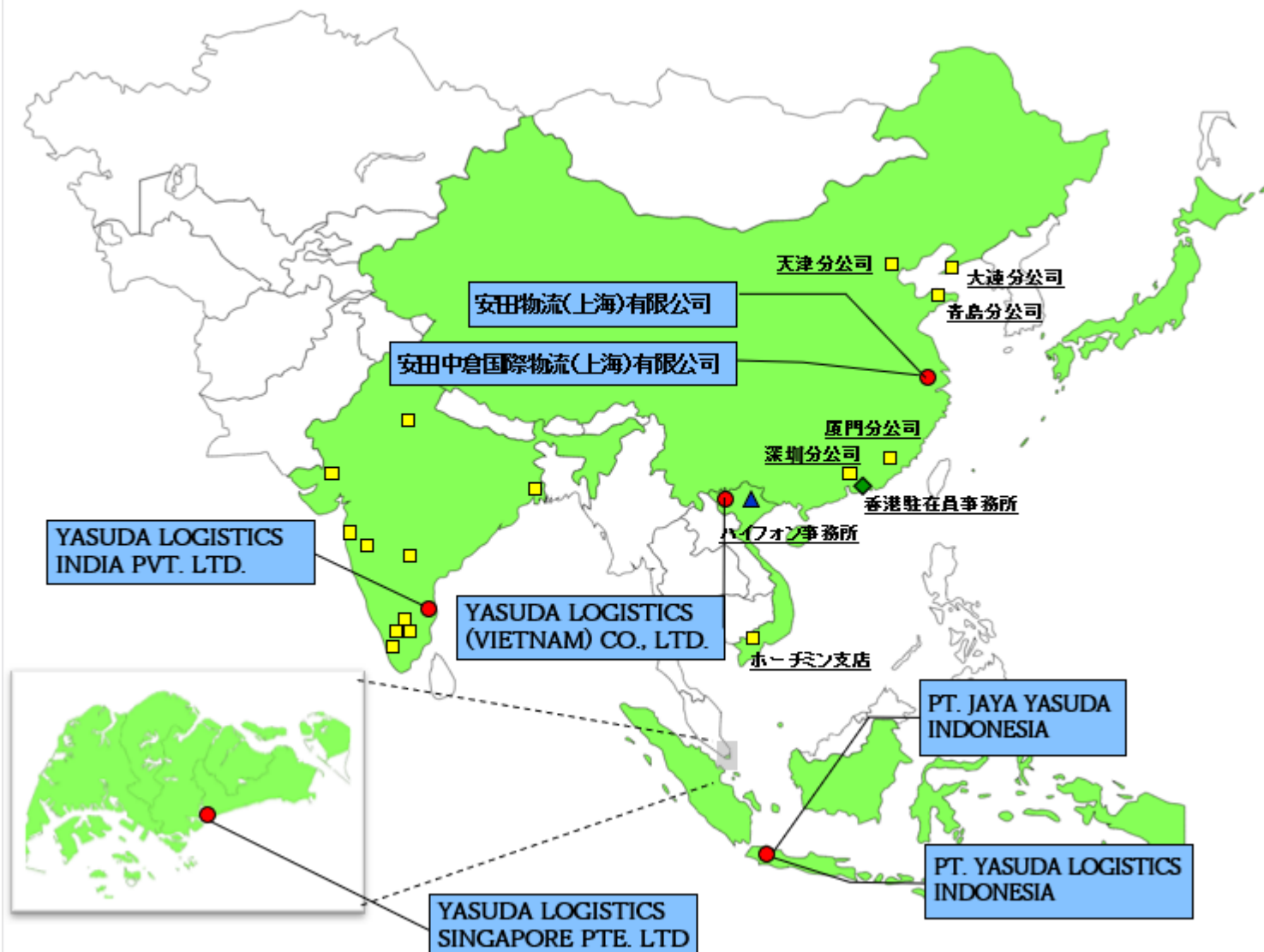
- ・ 前期に竣工した複合用途ビルが順調に稼働

2. 企業集団の主要拠点等

国内事業拠点



海外事業拠点



- 海外現地法人
- 現地法人分公司／支店
- ▲ 現地法人事務所
- ◆ 駐在員事務所

3. 連結計算書類等

第158回招集ご通知 49ページ～51ページ

連結貸借対照表、連結損益計算書、
連結株主資本等変動計算書

第158回招集ご通知 52ページ～56ページ

貸借対照表、損益計算書、
株主資本等変動計算書

当社ウェブサイトに掲載

連結注記表、個別注記表

4. 会社の体制及び方針等

第158回招集ご通知 42ページ～44ページ
業務の適正を確保するための体制及び
運用状況の概要

当社ウェブサイトに掲載
株式会社の支配に関する基本方針

第158回招集ご通知 44ページ～45ページ
剰余金の配当等の決定に関する方針

第158回招集ご通知 33ページ～41ページ

会社の株式に関する事項

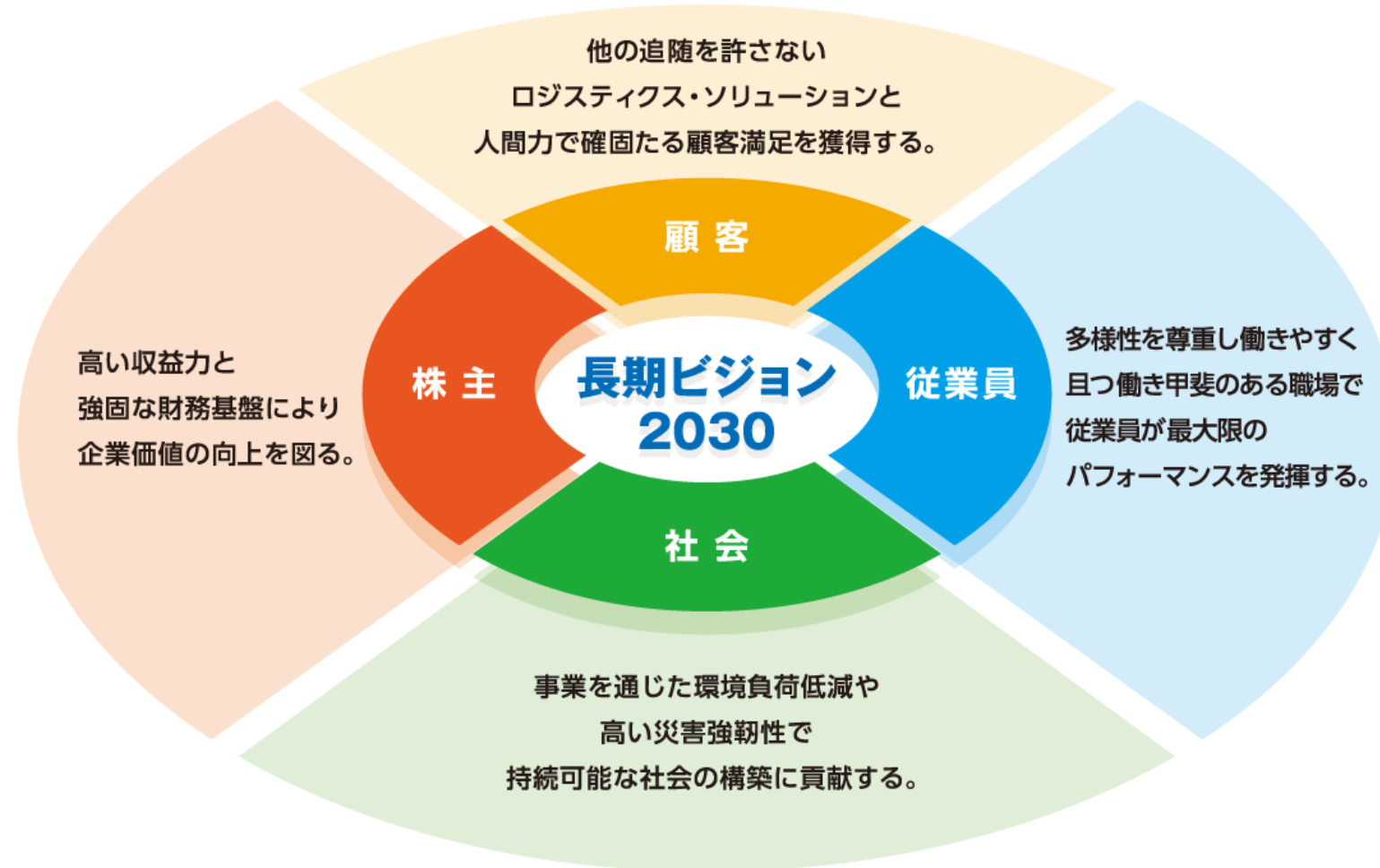
会社の新株予約権等に関する事項

会社役員に関する事項

会計監査人の状況

5. 対処すべき課題

世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す



強くなる、ひとつになる

YASDA GROUP CHALLENGE 2027

基本方針

最先端テクノロジーと多様な人間力、そして国内外に広がるネットワーク。
安田倉庫グループの総合力を進化させ、
社会とお客様の期待を超える「YASDA Value」の提供を目指す。

基本戦略

物流事業

- グループ連携によるネットワーク拡充
- 潜在するニーズを捉えた高品質・高付加価値物流の提供
- 効率化・合理化の推進

不動産事業

- 保有不動産の維持管理・再開発を通じた価値向上
- 専門性を活かした不動産ソリューションの提供

経営インフラ

- 生産性向上
- サステナビリティ経営の推進
- グループガバナンス強化
- 持続的な成長を可能にする資本政策と財務健全性維持、株主還元強化

数値目標

2028年
3月期連結

営業
収益

820 億円

営業
利益

45 億円

ROE

5.5%以上

倉庫・輸配送ネットワークの拡大

■「羽田営業所」の建設

東京都大田区において「羽田営業所」の建設工事をすすめ、この度竣工、営業を開始

- 東京モノレール昭和島駅に隣接
- 東京港、羽田空港、主要運送会社のターミナルに至近
- 当社の近隣物流拠点である東雲営業所、東雲営業所辰巳倉庫と同様に、医療機器の洗浄・検査・メンテナンス業務の提供など、医療機器に関わる全ての業務が担えるメディカルロジスティクスセンター



倉庫・輸配送ネットワークの拡大

■「吉川営業所」の開設

メディカル物流ユニット東京物流センターをリニューアルし、
「吉川営業所」として新たに開設

- 埼玉県吉川市に立地
- 医薬品管理に必要なGDP(医薬品の適正流通)ガイドラインに対応した医薬品物流拠点
- 危険品に該当する医薬品等も保管可能な危険物倉庫も新たに開設



倉庫・輸配送ネットワークの拡大

■株式会社オリエント・サービスが「危険物倉庫3棟」を開設

当社連結子会社の株式会社オリエント・サービスが危険物倉庫3棟を新たに開設

- 愛知県春日井市に立地
- 中央自動車道小牧東ICに至近
- 危険物保管の需要増加に対応



倉庫・輸配送ネットワークの拡大

■「帝人物流株式会社」をグループ会社化

西日本を中心に拠点を展開し、合成繊維・化学品の取扱いに豊富な経験とノウハウを有する「帝人物流株式会社」のグループ会社化を決定

- 当社グループの成長に向けた新領域への参入(合成繊維・化学品物流)
- 倉庫・輸配送ネットワークの拡大(西日本エリア)
- 現在、同社株式の20%を取得済みであり、今後段階的に全株式を取得
- 同社の全株式を保有していた帝人フロンティア株式会社と業務提携契約を締結

倉庫・輸配送ネットワークの拡大

■「富山県トラック株式会社」をグループ会社化

富山県において、定温倉庫を含む倉庫拠点とトラックを保有し、北陸地方を中心に物流サービスを提供する富山県トラック株式会社をグループ会社化

- 医薬品メーカーが集まる富山県において、医薬品の保管も可能な定温倉庫を保有
- 既存グループ会社の大西運輸(石川県金沢市)との連携により、北陸地方での倉庫・輸配送ネットワークの更なる拡大を目指す



IT機器物流サービスの拡大

■国内最大規模の新テクニカルセンターにおけるIT機器物流サービスの提供

横河レンタ・リース株式会社及び芙蓉総合リース株式会社が神奈川県海老名市に開設予定の新テクニカルセンター(国内最大規模)にて、構内作業及び配送を当社が提供することが決定

- 当社が長年培ってきた高品質な物流オペレーションとIT機器ライフサイクル・マネジメントサービスのノウハウを活かし、3社が連携してお客様のIT資産管理における課題をワンストップで解決することを目指す

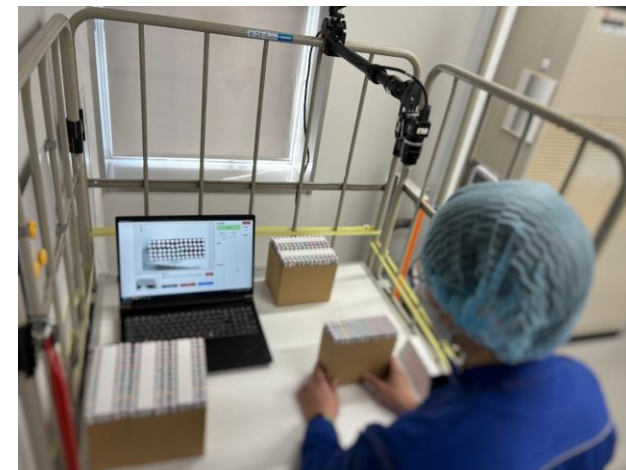


DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

■物流DXの推進を継続

倉庫現場にAI画像検品ソリューションやAMR(自律走行搬送ロボット)等を新たに導入

➤今後もAI・ロボティクス等の先進技術を活用し、社会やお客様の課題解決と当社グループの更なる収益性向上を目指す



DX認定

保有不動産の再開発

■安田8号ビル(旧本社)の大規模リニューアル

東京都港区・芝浦地区において

安田8号ビル(旧本社)の大規模リニューアル工事に着手し、この度、竣工



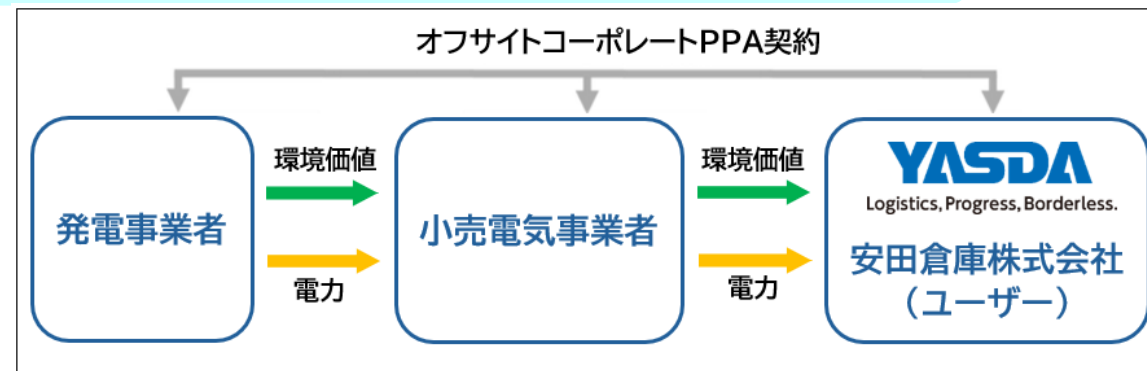
サステナビリティへの取り組み

■CO₂排出量削減に向けた取り組み

当社グループは、2030年度末までにCO₂排出量を2022年度比30%削減、再生可能エネルギー発電量を年間500万kWhとする目標を設定

- 柏営業所と守屋町営業所においてコーポレートPPA※を導入
- 両拠点とも、非化石証書をあわせて活用することで、使用電力の实质100%再生可能エネルギー化を実現

※ Power Purchase Agreement(電力販売契約)の略称



※写真はイメージ図です

中期経営計画に基づき、 計画的に実施

- 政策保有株式の縮減
- 保有不動産の売却
- 自己株式の取得



成長投資の拡充及び 株主還元の強化

強くなる、ひとつになる

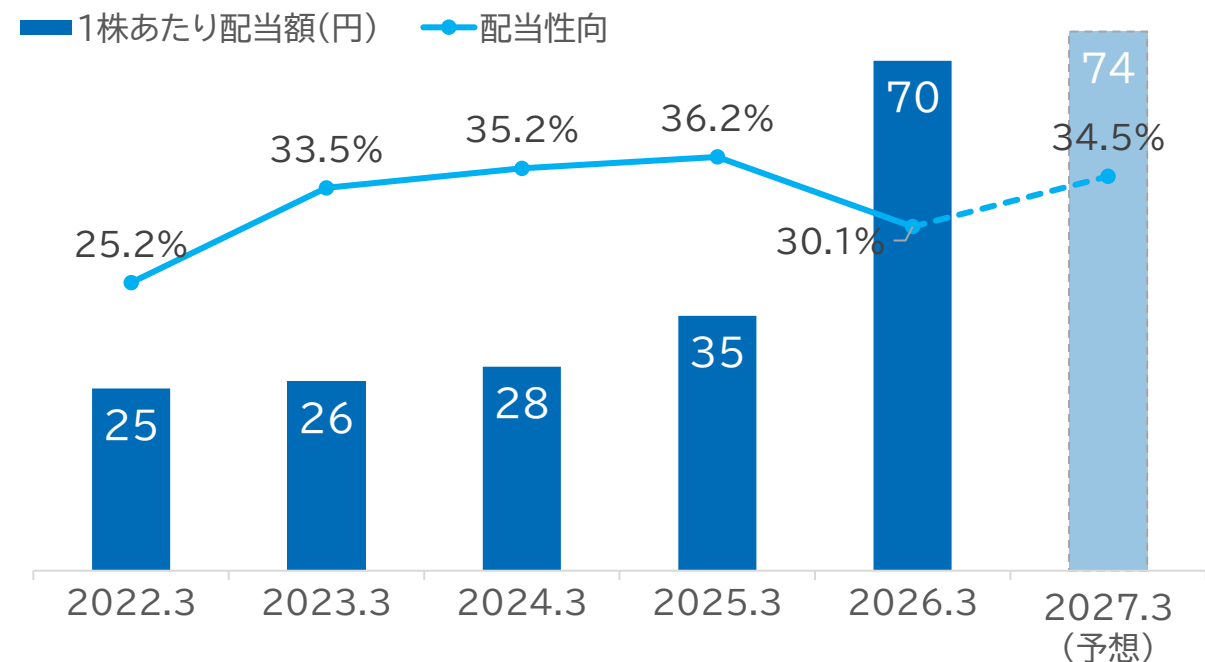
YASUDA GROUP CHALLENGE 2027

総還元性向45%を目安

累進配当かつ
連結配当性向30%下限

機動的な自己株式
取得を検討

2026年3月期 中間配当:29円 期末配当:41円 通期:70円



第158回
定時株主総会
決議事項

第1号議案 第158期剰余金処分の件

期末配当金

1株につき41円

中間配当金とあわせ

1株につき年間70円

詳しくは第158回招集ご通知の[5ページ](#)をご参照ください

第2号議案 定款一部変更の件

(1) 現行定款第18条を削除し、第19条以下を繰り上げ

(2) 現行定款第23条を変更

詳しくは第158回招集ご通知の6ページ～7ページをご参照ください

第3号議案 取締役9名選任の件

- | | |
|----------|----------|
| 1. 藤井 信行 | 5. 井福 正博 |
| 2. 小川 一成 | 6. 東山 克之 |
| 3. 松井 正 | 7. 野上 宰門 |
| 4. 佐藤 陽一 | 8. 征矢 真一 |
| | 9. 川合 晶子 |

詳しくは第158回招集ご通知の8ページ~17ページをご参照ください

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

吉田 宏二

詳しくは第158回招集ご通知の18ページをご参照ください

第1号議案 第158期剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

ありがとうございました

